



「真宗門徒の一年は報恩講に始まり、報恩講に終わる」と言われます。是非この機会にお参りください。

23日 (水)	13:30 (引続)	初逮夜 <b>門徒法要</b> 法話 島村 宣澄 氏
24日 (木)	7:00	晨朝兼日中
	13:30 (引続)	逮夜 <b>音楽法要</b> 法話 島村 宣澄 氏
25日 (金)	7:00	晨朝兼日中
	13:30 (引続)	中逮夜 法話 島村 宣澄 氏
	16:30	おつとめ教室閉講式
	17:30	初夜勤行・御伝鈔拝読
26日 (土)	7:00	晨朝兼日中
	13:30 (引続)	逮夜 法話 片山 寛隆 氏
27日 (日)	7:00	晨朝兼日中
	13:30 (引続)	結願逮夜・同朋のつどい 法話 片山 寛隆 氏
	16:00	帰敬式
28日 (月)	7:00	結願晨朝
	7:50	法話 片山 寛隆 氏
	9:30	法話 片山 寛隆 氏
	10:30	<b>結願日中 御直修大谷裕新門</b> (12時頃終了予定)

## 報恩講とは

報恩講とは、宗祖親鸞聖人の御祥月命日に勤められる法要で、真宗門徒にとっては一年でもっとも大切な仏事として勤められてきました。

私たちが生きていくうえには親の恩や師の恩など、いろいろなご恩があります。それぞれ大切なことですが、報恩講の「恩」とは、なにより親鸞聖人がいただかれた念仏の教えに遇い、自らが生きる依り処を教えていただいたご恩のことです。そのご恩を報謝し、共に念仏申す身となっていくことを誓うことが報恩講の大切な意味です。

また、本年度の結願日中は本山より大谷裕新門をお迎えしご導師をお勤めいただきます。貴重な機会になりますので是非お参り下さい。

## 音楽法要

札幌別院では毎年報恩講に音楽法要をお勤めしております。崇敬区域の御寺院の合唱団の方々や、学生のみなさんにもご協力頂き、大変華やかな法要となっております。

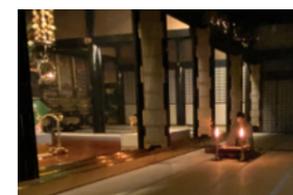


## 門徒法要

門徒法要とは普段の法要では僧侶が勤める導師や齎役、巡讀といった法要中の役割をご門徒が中心となって担って頂きお勤めする法要です。

## 御伝鈔

『御伝鈔』は正式には『本願寺聖人伝絵』といい、親鸞聖人の曾孫である、本願寺第三代の覚如上人が撰述された絵巻物です。宗祖親鸞聖人の伝記として最初のものであり、親鸞聖人の御生涯を感銘深いエピソードを交えて後世に伝えています。



## 能登震災についてのパネル展示

報恩講の期間中館内にて本年1月1日に発生した「能登半島地震」における宗派の被害状況と復興支援の取り組みをテーマにした展示を行います。

### ◇講師紹介

23日～25日 島村 宣澄 氏 (福岡県 浄慈寺)  
講題「念仏者にひらかれた大地」

26日～28日 片山 寛隆 氏 (三重県 相願寺)  
講題「真宗の救い～苦悩の群萌を救済し～」